

男子

女子

中

高

東京都目黒区

目黒星美学園小学校

【理事長】 鈴木 裕子

【校長】 小島 理恵

〒152-0003 東京都目黒区碑文谷2-17-6 TEL 03-3711-7571(代) <http://www.meguroseibisho.ed.jp/>
 【交通】 東急東横線都立大学駅・学芸大学駅、JR目黒駅(目黒駅よりバス)

神から与えられた一人ひとりを大切に育てます

聖ヨハネ・ボスコの教育

本学園は、神の教えを土台にした教育を実践しているカトリック・ミッションスクールです。学園の保護者と仰ぐ聖母マリアの清楚な姿を理想として、明朗で素直な、そして堅固な意志力を持った子ども達の育成に努めています。

教育の目標である「品性をそなえた誠実な明るい社会人」の育成のため、教師と児童との間に深い信頼関係が欠かせません。目標達成の具体的な実践として創立者聖ヨハネ・ボスコの示された「いつも子どもとともに」という教えのもとに、あらゆる時と場に於いて子ども達との触れ合いを大切にしています。

五感を通しての、子ども中心の授業

日々の教育活動を充実させて教育効果を高めるために、教員研修を深めるとともに、図書館教育の充実、合宿活動などにも力を入れ、目で、耳で、手で……といった五感を通しての子ども中心の授業を心がけています。そして、常に子どもとともに、その考え方が、あらゆる場で実践できるようにしています。

特色ある目黒星美学園の授業

1年生からの専科授業●国際化時代に向けての英語教育や豊かな精神を養うための宗教教育など、低学年から専科の教員によって授業を行っています。

フィールドワーク学習●2年生から6年生まで、合宿を伴ったフィールドワークを系統的に行っています。2年生は秋の自然教室、3年生は山中林間学校、4年生は志賀高原学校、5年生は尾瀬高原学校、6年生は沖縄美ら島学校、白樺高原スキースクール。大自然の中での生活を通して、神と人との深い関わりを感じ取り、子ども達の豊かな心の育成を図ると共に、主体的な体験から生きる力を育成することを目的としています。

日々の授業●学習の基礎基本を重視し、一人ひとりが活躍する「学び合う授業」を目指して毎日の授業を行っています。

上級学校に進むには

女子は本学園の中学校へ、男子は多数有名私立中学校へ進学しています。

聖ヨハネ・ボスコ（ドン・ボスコ）

設立母体であるサレジオン・シスターズは、1872年に聖ヨハネ・ボスコにより創設され、共創立者聖マリア・ドメニカ・マザレロを初代の総長として、教育事業と社会福祉事業の面で活動してきました。

聖ヨハネ・ボスコは19世紀、北イタリアのトリノで生まれ、産業革命後の激動の社会の中で、すさんでいく子ども達を見かね、キリストの愛と、常に子どもとともにという考えの上に立って、理性・宗教・慈愛を柱とする予防教育法をもって、青少年の健全な育成のために一生を捧げました。

聖ヨハネ・ボスコの唱えた教育の精神こそ、子ども主体の教育という本学園の精神の基盤になっています。



沿革

子ども達一人ひとりが持っている個性を生かし、伸ばしていくことを目的に、サレジオン・シスターズを母体にして昭和29年、現在の地に創立。その後、中学校に続き高等学校を創立。高校までの女子一貫教育に努めるカトリックのミッションスクールである。

2018年度募集要項

募集人員：男女120人
 出願期間：10月1日～10月4日
 出願手続：郵送受付のみ（消印有効）
 受験料：20,000円
 面接日：10月14日または10月21日（指定日）
 検査日（児童テスト）：A入試11月1日
 B入試11月3日 午前・午後
 合格発表：A入試11月2日 B入試11月4日 受付にて
【かかる費用（2017年度参考）】
 入学金：250,000円
 施設設備費：150,000円
 授業料：468,000円
 教育充実費：7,000円（月額）
 ほかに預かり金30,000円、預立金など
 初年度納入金総計：1,096,000円

併設中学進学状況

◆目黒星美学園中学校
 ※原則として女子の希望者全員が進学可能

2017年春の合格実績

慶應義塾中等部、渋谷教育学園渋谷、明大付属明治、栄東、渋谷教育学園幕張、麻布、海城、開成、学習院、暁星、駒場東邦、芝、東京都大付属、早大高等学院中学部、浅野、慶應義塾普通部、サレジオ学院、聖光学院、立教新座 など

データパック

- ◆児童数 683人 / 教員数 47人
- ◆17年度応募者数：男女 548人
- ◆合格者数：男女 120人

【併設校】

○目黒星美学園中学・高等学校